

広島県教育賞受賞の状況（過去5年間）

個人（学校教育）

年度	氏 名	所属及び職名	功 績 等
2024 令和 6	田 丸 誠	福山市立東中学校 校長	<p>平成 27 年度から 2 年間「大好き！福山～ふるさと学習～」実践モデル中学校区の指定を受け、郷土愛を育成する授業づくりや、互いの違いを認め励まし合う集団づくりに取り組んだ。</p> <p>令和 5 年度において、「英語で教室から世界とつながる」プラットフォーム事業」の指定校の校長として、生徒が外国人等と英語を使って主体的にコミュニケーションを図る態度の育成に取り組み、実践の成果を県全体へ広めるなど、英語の授業づくりの推進に貢献した。</p> <p>また、令和 6 年度には福山市中学校長会会長を務め、長年の行政経験を生かしながら適切な指導・助言を行い、市内中学校長の資質向上を図り、福山市の中学校教育の充実・発展に尽力した。</p>
2023 令和 5	岸本 千香子	福山市立想青学園 校長	<p>ふるさとの魅力を知り、ふるさとの未来を考える新教科「SOSEI学」では、企業等と連携し、地域の食材を生かしたオリジナル弁当づくりや郷土の偉人「山本瀧之助」の記念式典の企画提案など、地域の歴史・文化、産業等を素材にした探究学習を行った。</p> <p>また、コミュニティ・スクールを導入し、保護者や地域と学校運営のビジョンを共有して「かかわるつながる」をテーマに教育活動の充実を図った。</p> <p>さらには、主体的・対話的で深い学びの実現に向けて、教科や学年の枠を超えたカリキュラムを編成し、学習内容や方法を子どもたちが考え、決めて進めるなど、学ぶ喜びを感じることができる授業づくりに取り組んだ。</p>
2021 令和 3	宮本 浩嗣	福山市立御幸小学校 校長	<p>子どもたちが道徳的価値のよさに気付き納得することができるよう道徳と他教科、日常経験とのつながりを整理しながら、道徳の授業研究を進めた。道徳での取組を、子どもたちが、自分の思いを自分の言葉で表現したり、本音で議論したりすることを大切にした授業や児童会活動等につなげ、子どもたちの自己肯定感を高めた。</p> <p>また、広島県連合小学校長会長として、本県全体の学校教育の充実と発展に貢献した。</p>